

インターネット政策懇談会プレゼン資料

インターネット・NGNによる 多様なサービス提供に向けて

2008年7月31日

日本電信電話株式会社
取締役 研究企画部門長
花澤 隆

はじめに

NGNは“オープン”なインタフェースを備えた
キャリアのマネージドIPネットワーク

インターネットとNGNは互いに競争・補完し
多様なサービスを提供

IPv6移行に対応したインターネット接続サービス
の実現に向けて、積極的に取り組んでいくが、
多くの課題が存在する

NGNが目指すもの

NGNは、従来の電話網が持つ信頼性・安定性を確保しながら、IPネットワークの利便性・経済性を備えたネットワーク

便利・快適の追求

NGN

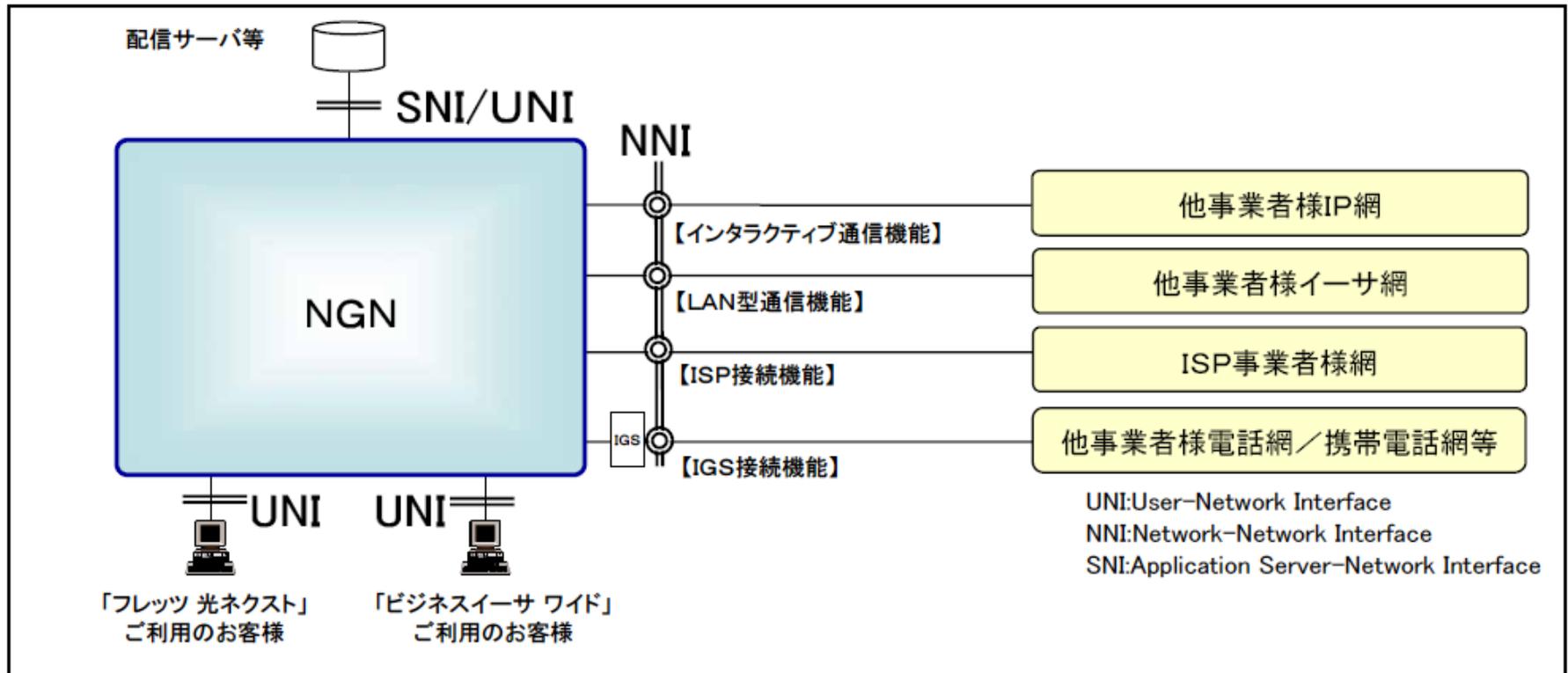
- 固定電話網で培った品質、信頼性などの継承
- ブロードバンド化に適したIP技術の採用
- セキュリティ対策などの課題の克服
- サービス選択肢の広がり

安心・安全の追求

“オープン”なインタフェース

NTTのNGNは、SNI / NNI / UNIの接続インタフェース条件を公開

- サービス提供者がNGNの機能を利用しやすくするための、アプリケーションサーバ - 網間インタフェース (SNI)
- 他通信事業者のネットワークとオープンに接続するための網間インタフェース (NNI)
- ユーザ (端末機器) - 網間インタフェース (UNI)

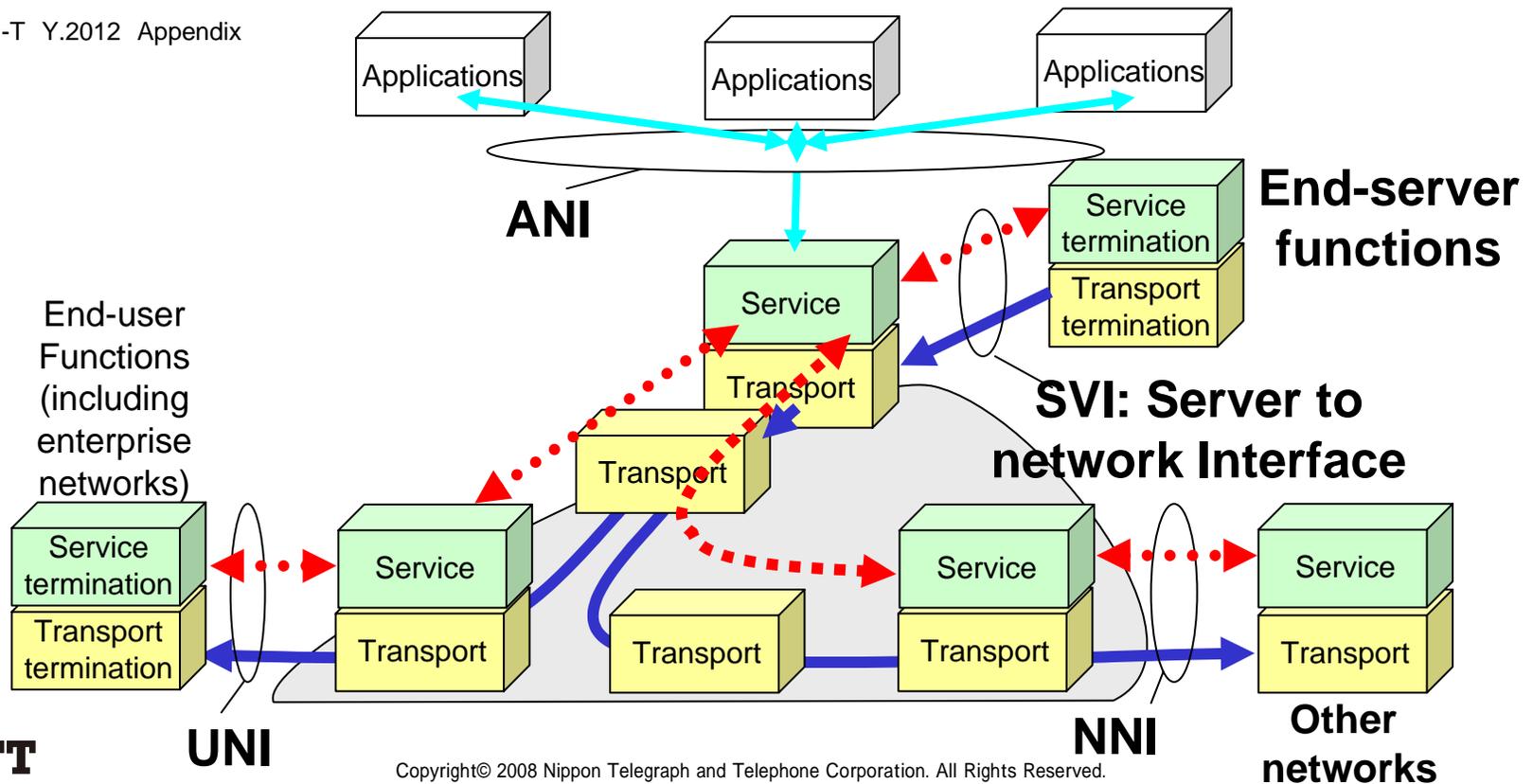


出典 2008年3月28日 次世代ネットワーク(NGN)商用サービス「フレッツ 光ネクスト」等の提供開始について

S VI (S NI相当)の標準化

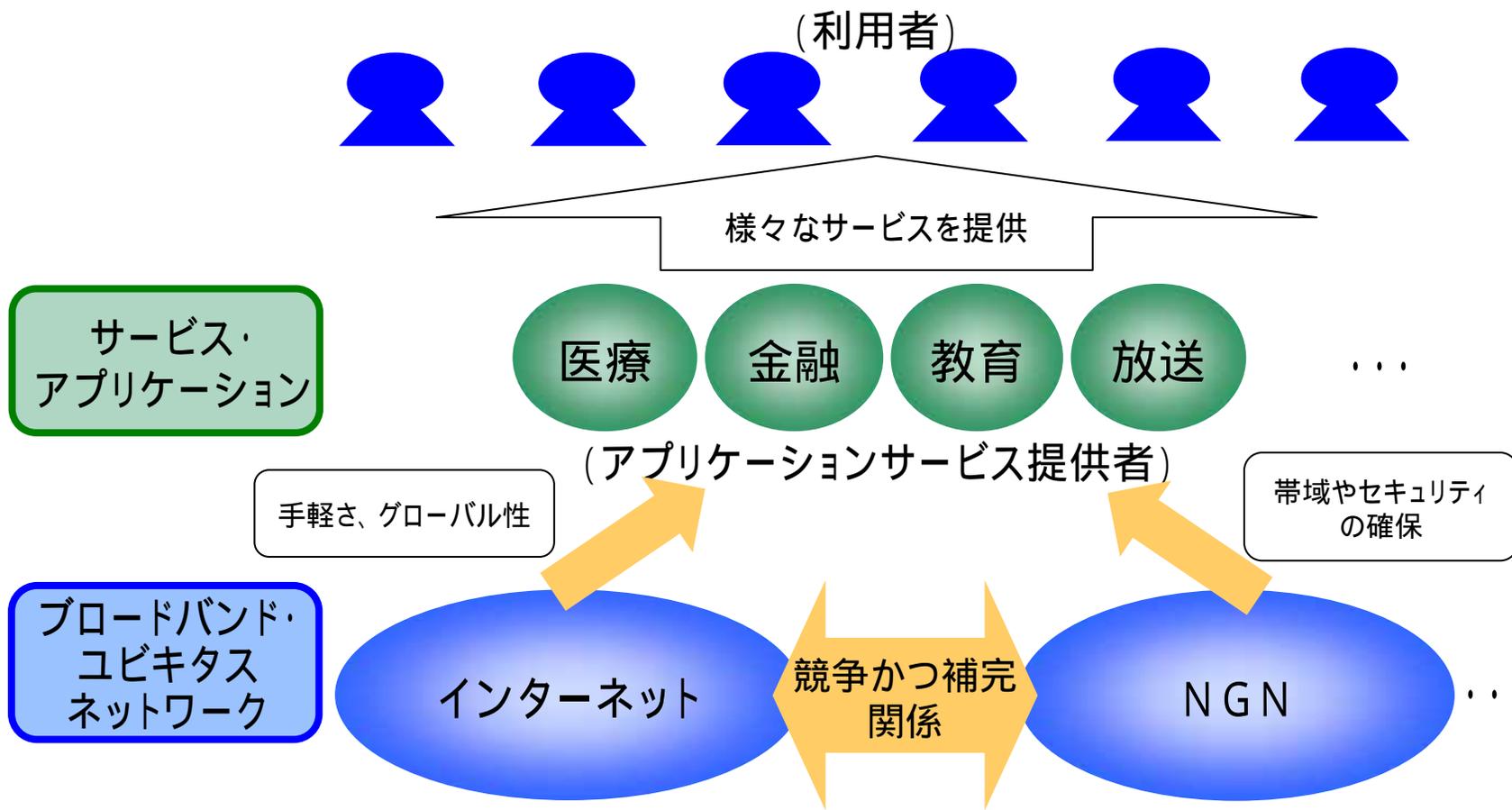
- ITU-T勧告Y.2012では, UNI / NNIに加えアプリケーション機能との接続点としてANIを規定
- オープンで使いやすいインタフェース提供のための実用面を考慮し、NTTはS NIに相当するサーバ - ネットワーク間インタフェース“S VI” (Server - network Interface)を提案し標準規定に追加

出典 ITU-T Y.2012 Appendix



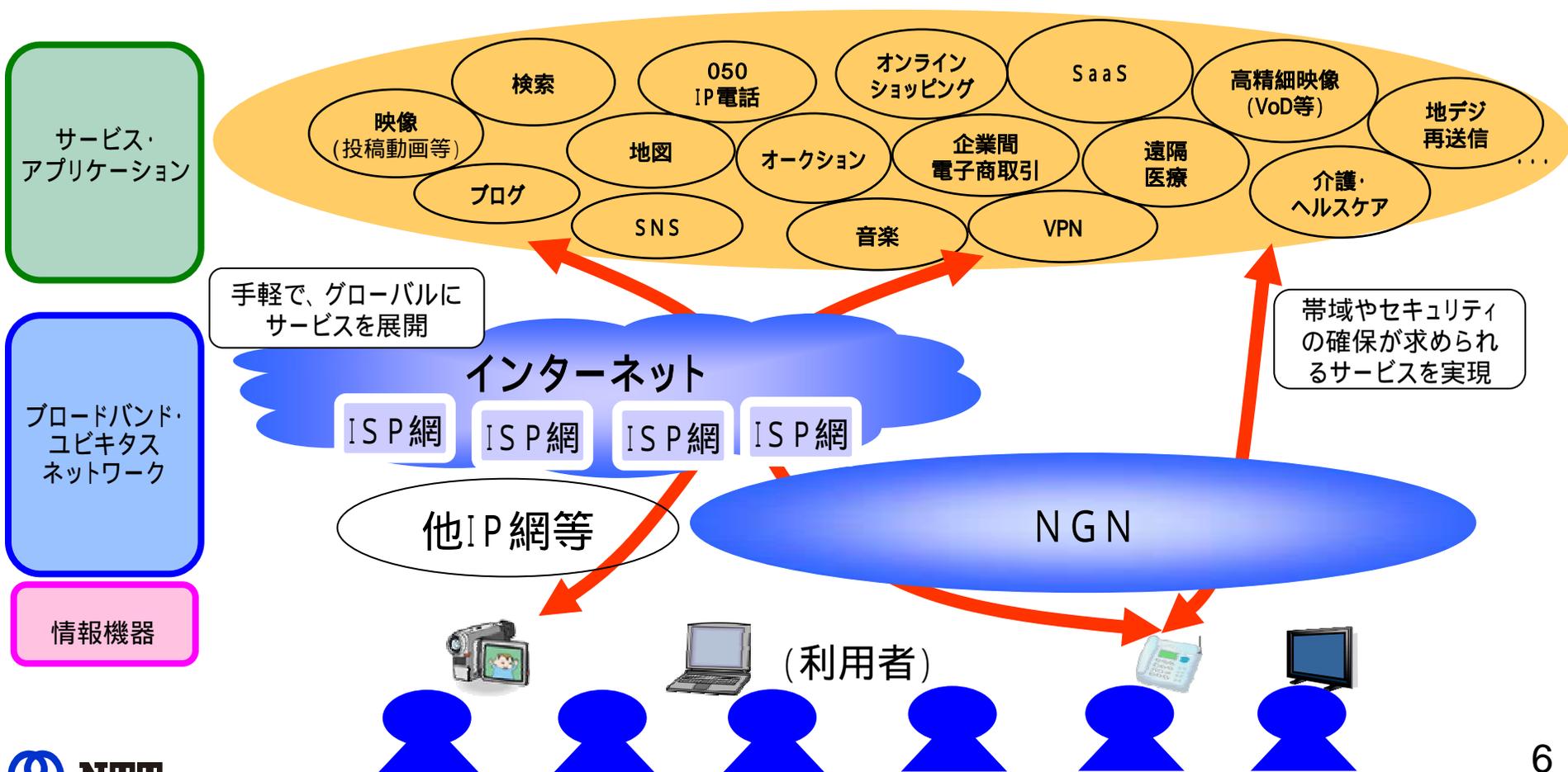
魅力あるサービスの実現を目指して

インターネットとNGNは、競争・補完しながら、多様な事業者がサービス・アプリケーションを展開できる環境を提供し、魅力ある多様なサービスの提供を目指す



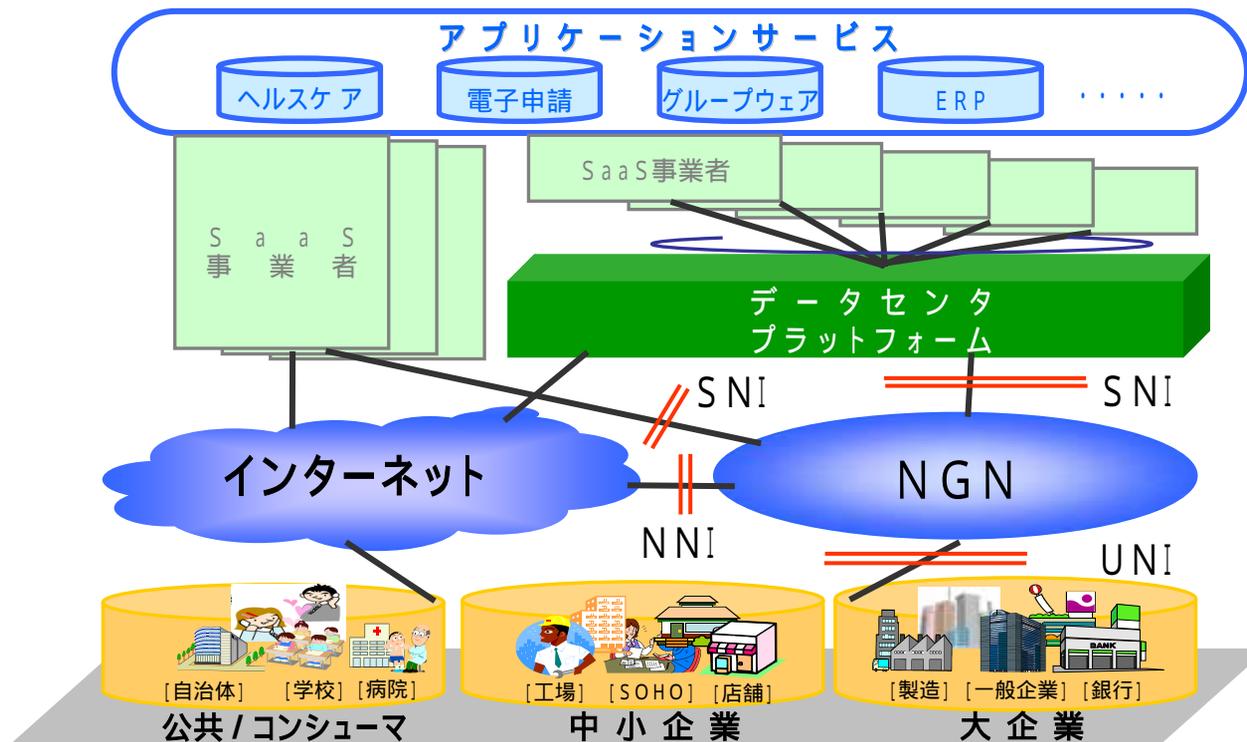
競争・補完による多様なサービスの実現

インターネットとNGNのそれぞれの特徴を活かし、競争・補完することにより、サービス提供者はサービスの特性に合った提供形態を選択でき、利用者は適切なサービスを選択できる



SaaS over NGNの取り組み

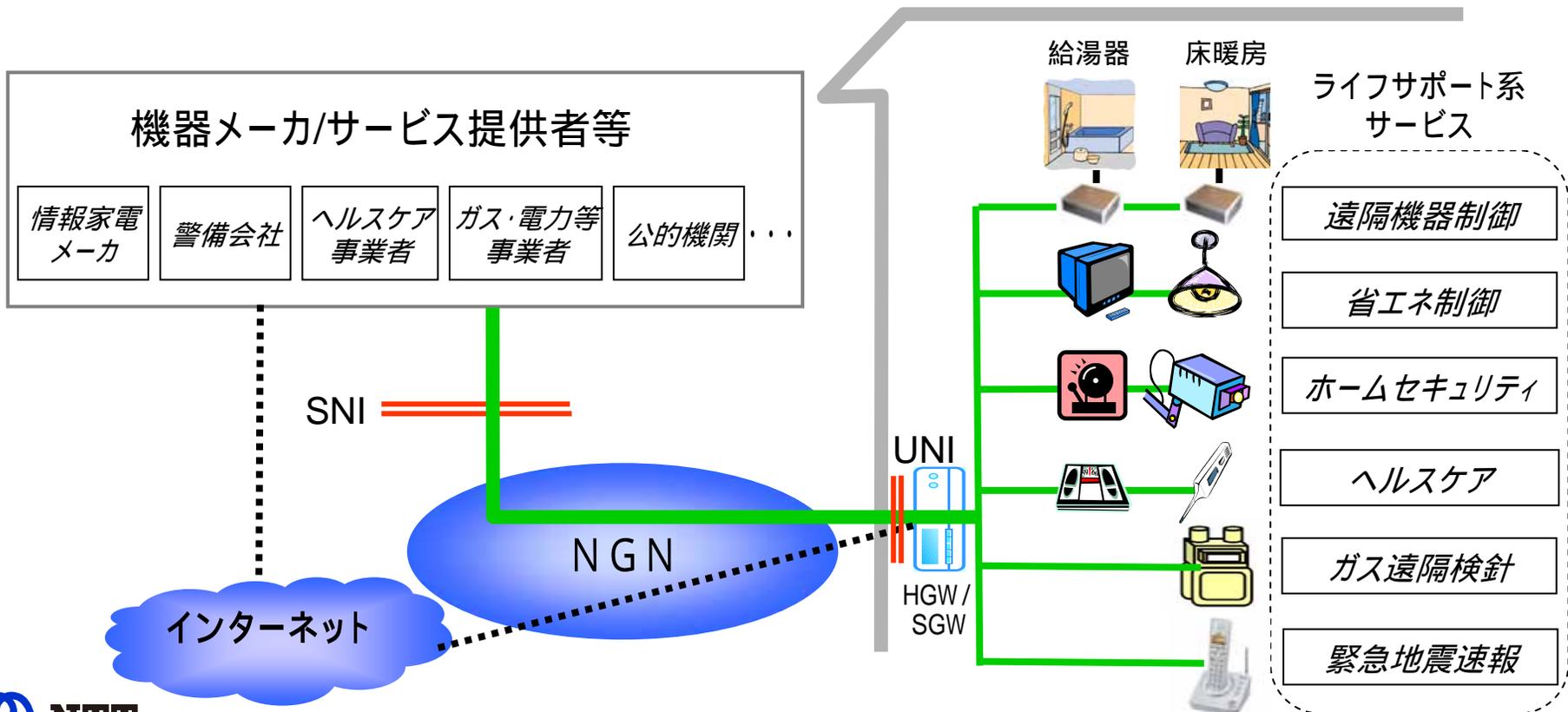
- オープンなSNIの上で、様々な事業者によるNGNを活用したSaaSプラットフォーム/サービスの拡大を目指す
- 顧客情報を始めとする機密情報の漏えい防止や品質・安定性の面を重視する企業ユーザに対しては、NGNによって高いセキュリティを確保するとともに帯域確保による高品質サービスを提供



多様なSaaS事業者が、NGNのSNIを活用したSaaSサービスを展開可能に

ホームネットワークサービスの取り組み

- オープンなSNIにより、ライフサポート系を中心とするサービス提供者と連携し、ネットワーク利用の拡大を目指す
- 遠隔からの家電機器の制御や災害時の確実な緊急通報を可能とする、リアルタイム性の高い通信や、回線認証機能をNGNが提供



インターネットのIPv6移行に関わる課題

- グローバルIPv4アドレスの枯渇への対応方策として「IPv6への移行」が実施されても、インターネットとNGNとの競争・補完により、利用者に多様なサービスを提供できることが重要
- NTTはIPv6移行に関わるプレイヤーとして、関連する事業者と協議を重ねながら積極的に取り組んでいく
(ISPとは業界団体を通じて協議中)
- NGNにおいてIPv6移行に対応したインターネット接続サービスを実現するには、利用者の利便性やISP選択の自由度の確保、可能な限りの国際的な標準化動向との整合等多くの課題が存在する
(例 マルチプレフィックス問題)

マルチプレフィックス問題:

ISP網とグローバルインターネットとは接続されない閉域網との両方に到達可能なネットワーク環境にある端末において、それぞれの網からIPv6アドレスが払い出されて、端末に複数のIPv6アドレスが付与された結果、端末が正しい始点アドレス及び経路を選択することができず、通信ができなくなる問題